

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第38週	第37週	第38週		第37週		第38週		第37週		第38週		第37週		第38週		第37週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	50	3	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0
感染性胃腸炎	53	40	8	15	8	8	7	7	8	3	0	5	0	4	1	3	0	1
水痘	6	6	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1
手足口病	288	388	53	24	76	34	30	12	38	15	0	5	0	11	23	7	38	8
伝染性紅斑	4	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	31	24	6	0	3	0	6	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
百日咳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	25	51	0	3	1	3	0	0	1	0	0	1	0	2	0	2	0	1
流行性耳下腺炎	28	33	9	12	17	14	0	2	0	0	0	0	0	0	9	10	17	14
RSウイルス感染症	119	204	9	1	11	7	5	0	8	2	0	1	0	3	4	0	3	2
急性出血性結膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0		0
流行性角結膜炎	8	26	0	1	0	1	0	1	0	1		0		0		0		0

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況

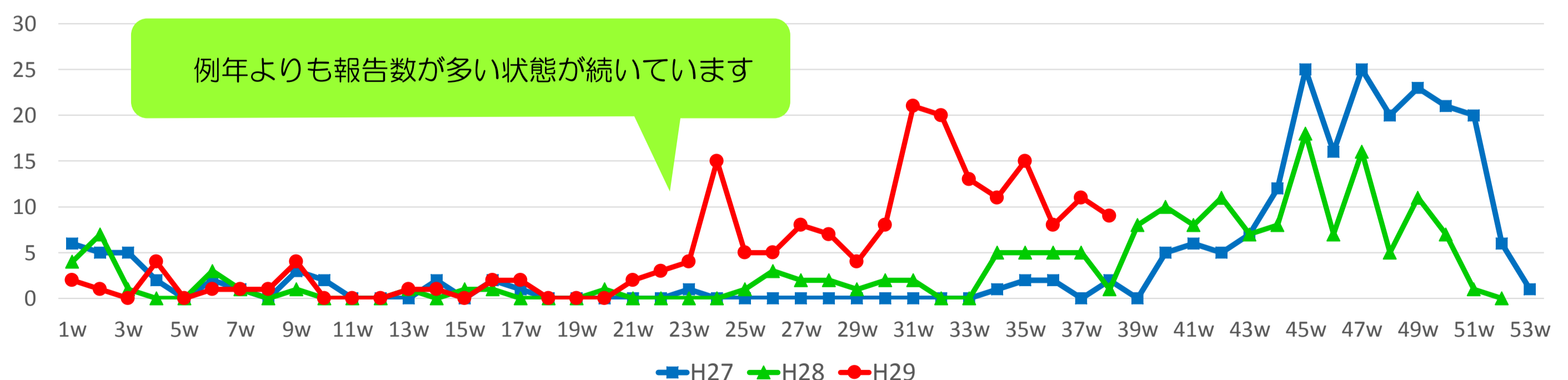
〈県中地域で手足口病の流行が続いています〉

県中地域で、手足口病の流行が続いています。手足口病は頬の内側や舌、手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、乳幼児を中心に夏季に流行します。乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは、集団感染が起こりやすいため特に注意が必要です。一般的な感染対策は、流水と石鹸でしっかりと手洗いをする、排泄物を適切に処理すること等です。手足口病は症状が見られなくなった後も、2~4週間にわたり、便などからウイルスが排泄されるため、注意して下さい。

RSウイルス感染症の流行が続いています

県中地域でRSウイルス感染症の流行が続いています。福島県内でもRSウイルス感染症の患者報告数が例年より多くなっており、今後も11月~12月あたりまで多い状態が継続するものと予想されます。

県中地域 RSウイルス感染症 発生状況



RSウイルス感染症の感染経路は飛沫感染と接触感染で、発症の中心は0歳児と1歳児とされています。そのため、0歳児と1歳児に日常的に接する人は、咳などの呼吸器症状がある場合、飛沫感染対策としてマスクを着用することが大切です。また、接触感染対策としては、子ども達が日常的に触れるおもちゃ、手すりなどをこまめにアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒し、流水・石鹸による手洗いとアルコール製剤による手指衛生の励行を行うことが重要となります。